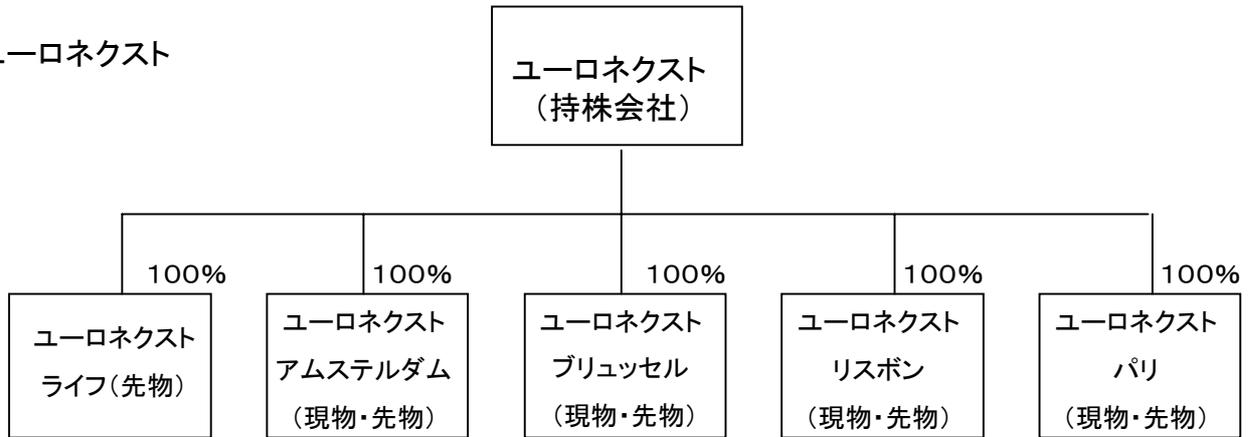


持株会社形態を活用した取引所の提携の事例

1. ユーロネクスト



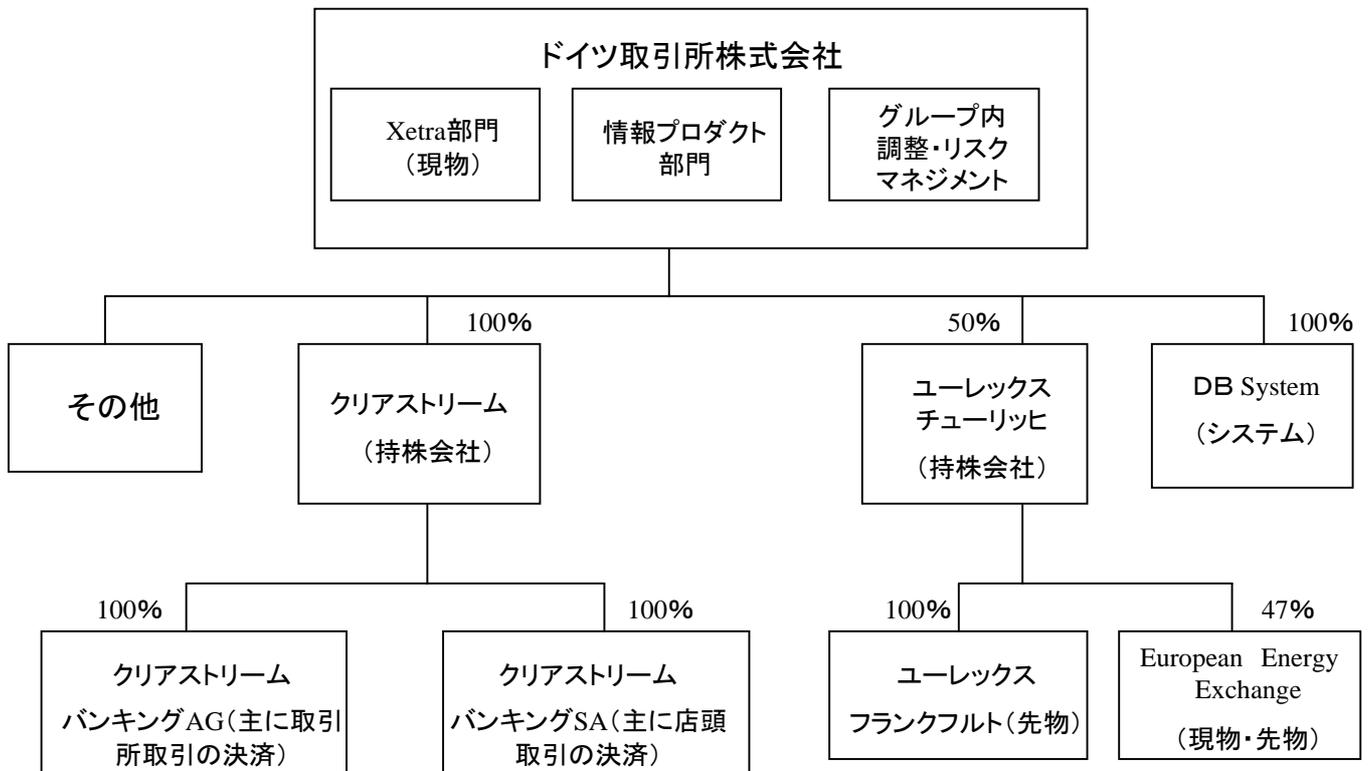
(注1) 2000年9月 パリ、アムステルダム、ブリュッセル取引所が持株会社形態によりユーロネクストとして統合。

2001年11月 ユーロネクストはライフを買収。

2002年2月 ユーロネクストはリスボン取引所を買収。

(注2) 現物株式市場については、いずれの取引所会員からも他取引所に対して直接注文が行える(リスボン取引所の会員については、2003年7月から)。

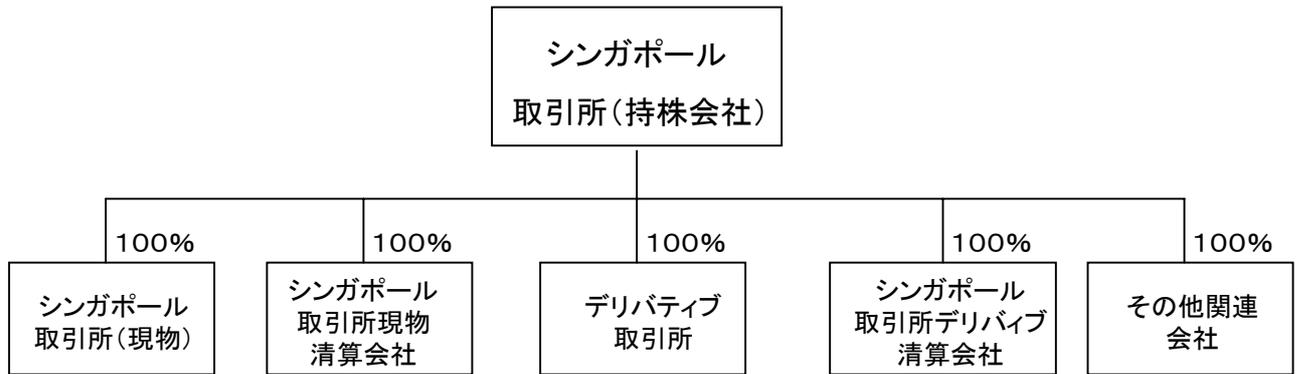
2. ドイツ取引所グループ



(注) 1998年 ドイツ取引所とスイス取引所がそれぞれ50%出資して持株会社ユーレックスチューリッヒを設立し、ユーレックスチューリッヒの100%子会社としてユーレックスフランクフルトを設立。

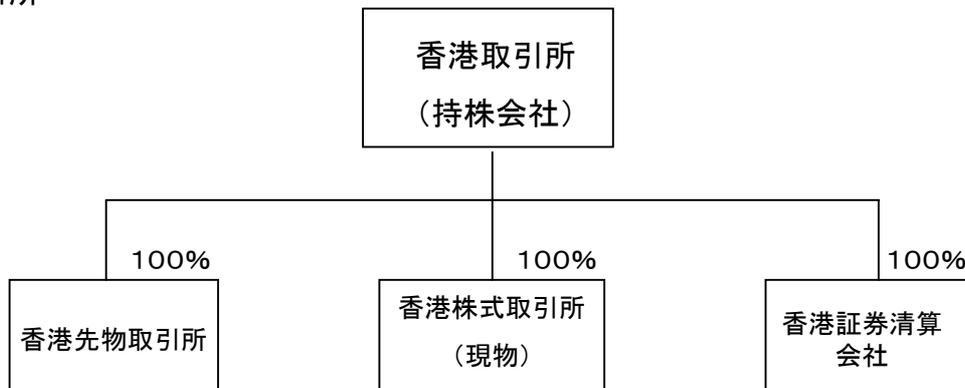
2000年 ドイツ取引所とセデルが50%ずつ株式を保有する形で、持株会社クリアストリームを設立。その後、ドイツ取引所がセデルの持分を取得して、クリアストリームを100%子会社化。

3. シンガポール取引所



(注)1999年12月 持株会社形態による統合が実現。

4. 香港取引所



(注)2000年3月 持株会社形態による統合が実現。